

〔例題 1〕 2012年に成立した社会保障と税の一体改革関連法案に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 子ども・子育て支援を強化するために、消費税を、老人医療や介護などだけでなく、子育ての分野の財源にも充てることになった。
2. 国民年金、厚生年金、共済年金が一元化され、自営業者なども厚生年金に加入して所得比例年金を受給する仕組みが導入されることになった。
3. 医療保険については、健康保険の加入要件が見直され、これまで健康保険に加入していた短時間労働者は国民健康保険に加入することになった。
4. 老齢基礎年金や老齢厚生年金については、受給開始年齢の引上げを背景に、受給資格期間を延長することになった。
5. 低所得者対策として、年金受給者のうち低所得の高齢者などを対象とする所得保障が検討されたが見送られ、従来通り、生活保護制度で対応することになった。

〔正答 1〕

〔例題 2〕 地域福祉の担い手に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 市町村社会福祉協議会は、社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言などを行う団体であるとされている。
2. 共同募金会は、地域福祉活動に対する資金の配分を行っており、その対象は国、地方公共団体及び社会福祉法上の社会福祉事業を営業者である。
3. 民生委員は、非常勤の地方公務員として給与が支給され、社会奉仕の精神をもって、住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行う。
4. 特定非営利活動法人は、地域福祉活動を行うに当たり、収益を上げてはならず、活動の財源は寄附や会員の会費で賄わなければならない。
5. 市町村は、地域福祉計画の策定に当たり、住民の意見を反映させるために必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

〔正答 5〕

【例題3】 構造機能主義に関する次の文のA～Dに入るものの組合せとして妥当なのはどれか。

構造機能分析理論において、順機能／逆機能などの概念群を提案して、機能分析の精緻化に貢献した **A** は、パーソンズが一般理論を目指したのに対し、より具体的な経験的仮説を積み上げて概念枠組みを構成する **B** を提唱した。この成果として生まれた用語には、株価の暴落の予想が株の売りの増大を促し結果的に株式市場の暴落を引き起こす例などにあてはまる **C** や、人の感じる不満は境遇の客観的な劣悪さではなく、その人の抱く期待水準と達成水準との知覚された格差に起因することを表した **D** などがある。

A	B	C	D
1. R.ダーレンドルフ	闘争理論	マタイ効果	役割葛藤
2. R.ダーレンドルフ	中範囲の理論	自己成就的予言	認知的不協和
3. R.K.マートン	闘争理論	マタイ効果	相対的剝奪
4. R.K.マートン	中範囲の理論	自己成就的予言	相対的剝奪
5. L.フェスティンガー	認知的斉合性理論	適合性原理	認知的不協和

【正答4】